

たより



平成 29 年 6 月 22 日
伊勢市教育研究所
伊勢市桜木町 55-1 (旧さくらぎ保育所)

乳幼児教育専門講座

「乳幼児のことばと心の育ち」関心高く！



5月13日(土)に今年度の乳幼児教育専門講座を実施しました。講師に元 立教女学院短期大学教授で、現在「子どもとことば研究会」代表の今井和子さんをお迎えしました。



「乳幼児のことばと心の育ち」をテーマに、子どもたちが、どのようにことばを獲得していくのか、その過程で大人がどのように関わっていくことが望ましいのか、ご自身の保育士としての経験と長年の研究から熱く語っていただきました。受講者74名と大盛況でした。

<今井先生のお話より>

- 「言葉」は心からあふれ出るもの。優しく丁寧で心のもった言葉がけで心が安らぎ落ち着く。
- 3歳未満児は、言葉にならない言葉で自分の思いが大人に伝わる喜びを知り、自己肯定感やコミュニケーション力を育む。丁寧に聞き取り、言葉にしてあげることで、子どもと言葉の世界をつなげていくのが大人の役割。
- 対話能力の発達する3歳以上児のよい聞き手となり、言葉を補いながら、伝えたい思いを共有し、意図を引き出すことが大切。
- 4～5歳児は体験を通して言葉を育み、自分の世界を広げる。子どもたちの質問に「どうしてだと思う？」と問い返すことで、自分たちで答えを見つけようと、言葉で考える力が育まれる。
- 保育者の言葉や関わり方を吟味することで子どもは変わる。



<受講者のアンケートより(抜粋)>

- 言葉にならない心の声に耳を傾け、目に見えない真実を見極める重要性を再認識することができました。子どもが見ている世界があたたかく希望にあふれているものにすることが大人の責任であると痛感しました。自分の子育ては反省するも遅すぎますが、明日からの仕事においてしっかりと生かすことができるよう意識していきたいと思えます。
- 現代の子ども、社会の姿の話から、ていねいにお話していただき、現代の問題点がよくわかりました。そして、どういう手立てで子どもに関わっていけば良いかを教えていただき、これからの保育で、活用していきたいと思えます。また、今回学ばせて頂いたことを保護者の方にもお伝えできれば良いなと思えました。そして、子どものちいさな言葉、表情、表現を見のがさないよう、保育をしたいと思えます。
- 子どもの心に寄り添いながら子どものことばを聴くことの大切さを改めて感じた。行動からその子の心の動きを理解できる「観る力」をもてるようにしたいです。心がほっこり温かくなる研修となりました。子どものことばや行動から内面の心の動きを読みとれる援助ができるようにしたい。



「カウンセリングマインド向上研修」スタート！

今年度から「子ども輝き生き活き総合推進事業」の取組の柱として、「カウンセリングマインド向上研修」「カウンセリングリーダー研修」を開始しています。

この研修は、教職員がカウンセリングについて学び、子どもたちのよりよい相談相手となることを目的に、鈴鹿医療科学大学と連携して実施しています。

今年度は、市内小中学校 11 校で実施することになっています。すでに進修小学校、五十鈴中学校、北浜中学校で校内研修会を終えました。各校の要望に沿いながら、異なる内容で研修を進めています。下記は各校の振り返りです。

- 今後も日常的に子どもについての話や教職員の悩み、保護者への対応などを職員室で話し合い共有していく。
- 教職員が個人ではなく、チームで生徒の見立てなどを行ったほうが、より多面的に見ることができる。
- 「カウンセリングマインド」は、教育相談のときだけに必要というものではなく、普段の授業や生徒・保護者との関わりのなかでも必要である。



★6月26日(月)から「カウンセリングリーダー研修」を開始します★

	日時		場所	内容
第1回	6月26日(月)	15:00~16:30	御園公民館	カウンセリングの基本 (概要とロールプレイ)
第2回	7月25日(火)	14:00~16:00	ハートプラザみその	表現療法 (※スクイグル)
第3回	8月22日(火)	14:00~16:00	ハートプラザみその	危機対応 (自殺・事故の予防、対応)
第4回	10月実施予定	15:00~16:30	未定	事例検討

※スクイグル…治療者とクライアントが相互になぐり描きをして見えたものを絵にすること。

情報教育係 News (出口ICTアドバイザー編)



情報教育係では、限られた予算を有効に活用するため、回収した ICT 機器から使用可能な部品を取り出し、再利用しています。その作業を指揮するのが出口 ICT アドバイザーです。

細かい仕事を黙々とこなす一方で、情報モラル学習の出前講座や ICT 機器操作の校内研修にも講師として出かけるなど大忙しです。プログラミング教育の進め方についても新しい情報を得て、様々なアイデアを提案してくれています。